

時には遊ぼう、本の森で・・・

村越 真

インターネット全盛の現代でも、本に対するニーズはいっこうに衰えていない。目次や索引というシステム、ページのレイアウト、製本など、読み・使うための歴史的蓄積のある本は、依然便利な道具である。読書の秋に向け、オリエンテーリングの本を探索してみよう。

オリエンテーリングの本は28冊

日本の学術情報の総本山である学術情報センター(<http://webcat.nii.ac.jp/>)が図書検索サービスを持っている。これは一般からもアクセスできるサービスで、日本の大学図書館が持つ蔵書をほぼ全て検索することができる。「オリエンテーリング」によるヒット件数は28件。中には、競技としてのオリエンテーリングに関係ない図書もあるが。

それらの本は一般書なので、近くの公共図書館にあるものも多いだろう。

ヒットした本の中で筆頭に挙げたいのは、「オリエンテーリング：自然に挑む地図と磁石のスポーツ」(紺野晃著、講談社、1971、講談社スポーツシリーズ)だ。この本はオリエンテーリング界のベストセラーで、79年には改定版が出された。初期のオリエンテーリングの牽引的な役割を果たした著書である。

その他に、「オリエンテーリング：図解コーチ」(長谷川純三著、成美堂出版)、「オリエンテーリング入門」(紺野晃、青木弘編著、スキージャーナル)、「オリエンテーリング」(仲川寿男、保育社)、「オリエンテーリングのための地図とコンパス・ゲーム」(横山治男著、不昧堂出版)などは、古くからのオリエンティアなら誰もが一度は目にしたことがある懐かしい本ではないだろうか。1970年代後半から80年にかけての、日本のオリエンテーリングがもっとも活力を持っていた時代の息吹が感じられる本だ。

1976年には「スキー・オリエンテーリング入門：新しいスポーツ」(大



黎明期の熱気が感じられる本の数々。左から「オリエンティア(年鑑)」、オリエンテーリングテクニック(杉山隆司著) 図解コーチオリエンテーリング(長谷川純三著) オリエンテーリング(仲川寿男著)

沼勝著、ベースボール・マガジン社)が出された。70年代に、スキーOの本が出版されていたこと自体、驚きである。また黎明期の競技オリエンテーリングを理論的に支えた柳下惇夫氏の自費出版とおぼしき「オリエンテーリング入門：森と泉に囲まれた健康的な野外スポーツ」(日本文芸社、1973)とても部数が出たとは思えない「走る+オリエンテーリング」(ブジェスラフ・コチ著；青木弘編；大竹国弘訳、ベースボール・マガジン社)の出版にも、当時のオリエンティアの熱気が感じられる。

市販されているのは、たった1冊

上記の本のほとんどは、現在市販されていない。一般に買えるオリエンテーリングの本はどれくらいあるのだろうか。本のオンラインショッピングであるアマゾン・コムで「オリエンテーリング」を検索すると9件がヒットするが、その多くは「取り扱いできない」「在庫切れ」である。その中でアマゾンコムで購入が可能なのは、なんとたったの1件であった。時々、僕のもとにもオリエンテーリングの解説書を購入したいのだが、という問い合わせを受けることがある。インター

ネットのご時世とは言え、興味を持った人が本という歴史ある情報源を利用できないのは、さびしい限りである。

オリエンテーリング・ウォークラリー 校外活動ガイドブック(2) 師岡 文男(著)(1997) 国土社 ¥2,000

なお日本オリエンテーリング協会では、拙著「村越真の実践オリエンテーリング講座」(村越真)が購入できる。現在手に入る競技スポーツとしてのオリエンテーリングの、唯一のテキストと言ってよい。

英語の本ならいくらでも

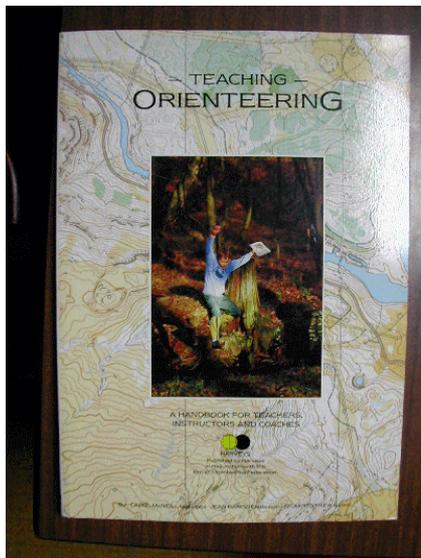
現在はアマゾンコムで気軽に洋書を手に入れることができる時代である。日本語の本がないなら英語の本を買ってしまえばよいのだ。実際に orienteering で検索すると、あるわ、あるわ、123件がヒットした。売れている順で上位を見てみると、以下のような本がヒットした。

栄えあるベストセラーに選ばれているのは、シルバーコンパスの発明者であるシェルストロム兄弟の一人、ビョルンが書いた「地図とコンパスのエキスパートになる」である。値段も2000円くらいだから、日ごろのコンパスの活躍に感

謝して蔵書に一冊加えるのも悪くない。
Be Expert with Map and Compass
Bjorn Kjellstrom (著) (1994) Collier
Books ¥1,935 (ただしアマゾン。コム
のリストでは Hjellstrom になってい
える)

オリエンテーリングのもっとも新しい
本が、以下の本である。この本はイギリ
ス出身で南アフリカ在住のブラット氏
によるものだ。
Orienteering Ian Bratt (著) (2002)
Stackpole Books ¥677

定評あるオリエンテーリング教本とし
て「Teaching Orienteering」(Carol
McNeill 著)がある。著者は、イギリ
スチームのエースとして長年活躍したこ
ともあるオリエンティアであり、ハー
ベイ地図サービスから出していた旧版
が改まったもの。¥2,985



定評ある teaching
orienteering(Carol MacNeil 著)

連盟のウェブにも情報源が

一般には流通していないが、ウェブ
を通して各国の連盟が出版しているブ
ックレット等を手に入れるのもマニア
ックで楽しいものだ。

まず、IOF (<http://www.orienteering.org/>)を見てみよう。
年2回発行される ORIENTEERING WORLD
は、主要な目的はオリエンテーリング
のPRだが、環境問題、ワールドゲーム
ズ特集など、オリエンティアが見ても
触発される内容が少なくない。IOFも
ご多聞にもれず財政難なので、国際
連盟を支えているという気概を2000
円で買える。カラーページもあって5
- 60pの

ボリュームだから安いものだ。世界
各国に代理人がいるが、残念ながら日
本にはいない。直接国際連盟の事務
局に問い合わせる必要がある。なお
支払い、ピザやマスターカードでも可
能。

誰でも無料で配信を受けられるのが
IOFのメールマガジンであるO-zine
(オージン)である。このメールマガ
ジンは、IOFのサイトで1クリックで
購読申し込みできる。

IOFの出版物の中でも重要なのは、
規則集やガイドラインである。現在
ではその多くはウェブサイトで手にす
ることができる。フットの国際規程
は、日本の諸規程集にも収録されて
いるが、日本では手に入らない規則
集も多い。

Statutes (国際オリエンテーリング
連盟規約)、The Leibnitz Convention
(ライプニッツ憲章：オリエンテーリ
ングをメディアや観客にも楽しめる
ものにするための基本方針)

Anti-Doping Code 01 (ドーピング禁
止規則)、International Drawing
Specifications for Orienteering Maps
(ISOM2000) (国際地図規程、日
本語訳が諸規程集に収録されている)

World Ranking Events Handbook 2002
Edition (ワールドランキング大会
のためのハンドブック) これらのほ
かに、各競技種目のための規則集
などもある。

JOAにも良書が・・・

なお、本年6月に、日本の諸規程
集も新版が出された。フットOの規
則はもちろん、トレイル、スキーの
規則、国際地図規程や国際規則の
日本語版など有用な情報が掲載さ
れている。

一般の人が目にする機会は少ない
が、「オリエンテーリング・ディレ
クター/インストラクター専門科
目テキスト」も、なにげに良書であ
る。クラブ運営から、指導法まで
オリエンテーリング活動の多くを
網羅している。

(問：日本オリエンテーリング協
会 電話03-3467-4548)

各国の連盟のサイトにも有用な文
献が紹介されているが、直接ダウン
ロードできるものも少なくない。
イギリスオリエンテーリング連盟
(BOF <http://www.cix.co.uk/~bof/bofhome.htm>)
のSafety Guidelinesは、オリ
エンテーリング競技会・練習会の
安全のためのガイドブックである。
詳細な競技規則を持つイギリス
らしく、安全基準も参加者と役員
の人数比の指針など、細かい情報
まで規準が与えられている。

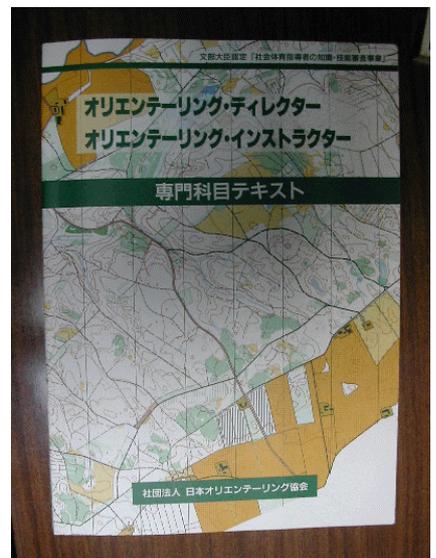
アメリカ (USA <http://www.usorienteering.org/>)

アメリカのサイトには、ウェブで直
接入手できる文献・資料も多いが、
その他にCoaching Orienteering (158
pp) - USOF coaching manual や
Orienteering & Map Games for
Teachers (Meg Garrett) が紹介さ
れている。

カナダ (COF <http://www.orienteering.ca/>)

カナダは古くからコーチ教育が制
度化されている国である。大会開
催のためのマニュアルやコーチ
ングマニュアルのリストが掲載さ
れている。注目はArmchair
Orienteering 1である。これはア
ームチェア、つまり座りながらし
てできる地図読みのトレーニング
集である。値段も10ドル前後
である。

ウェブサイト、洋書のオンライン
ショッピングなど、現在では様々
な情報源が気軽に手に入る。特
にこれから世界に飛び出そうと
している若者には、こうした本
や情報源に触れて視野を広げて
おくことをお勧めする。



多くの領域を網羅したディレ
クター・インストラクター・
テキスト (JOA発行) このような
テキストが十分に活用されて
いないのは残念なことだ。